

第15回 卒業証書授与式

3月7日(木)、第15回卒業証書授与式を行い、
こども学科10名、幼児教育学科11名が立派に巣立っていきました。
卒業生の保護者の皆様や在校生に見守られ、温かくとても感動的な式となりました。

在校生の佐藤優輝君の送辞、卒業生の福田伊織さんの答辞など、
時折涙を見せながら読み上げる姿に、私たち職員や在校生は様々な
思い出が蘇ってくると同時に、社会へと旅立つみんなを応援する気持ちで
胸がいっぱいになりました。

明るい笑顔や元気いっぱいの笑い声を聞けなくなるととても寂しくなりますが、4月からの新生活
が皆さんにとって豊かなものになるよう応援しています。保護者の皆様方にも心よりお祝い申し上げます。

お子様方の新たな門出に際し、更なる飛躍と今後のご活躍をお祈り致します。



4月

行事予定

- 9日(火) 入学式リハーサル
- 10日(水) 入学式
- 11日(木) 新入生オリエンテーション
2年生レポート〆切日
- 12日(金) 新入生オリエンテーション・自治会総会・新入生歓迎会
3、4年生レポート〆切日
- 13日(土) 科目終了試験(2~4年生)
- 15日(月) 前期講義開始

HAPPY DAY

学生自治会
お別れ運動会
3月1日(金)

卒業学年と最後の
活動を楽しみました！
ドッジボールやリレー、
バレーボールなど、
学年対抗で大盛り
上がり！！
先輩後輩関係なく、
力の限り戦いました！



みんな思い出に残る
一日になったことでしょう★

入学
おめでとう

日総の先生たちからのメッセージ

尾崎 慶彦 先生

皆さん御入学おめでとうございます。
3・4年間学生生活、長い
ように思えて全然長くないので、
いっぱい青春してください！
Enioy your Life!

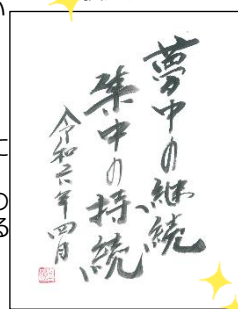
松本 星太 先生

入学おめでとう！みんなが日総に
くるのを楽しみに待っていました！
沢山遊んで、学んで、笑ってこの
3・4年間が一生の思い出となる
よう日々を楽しみ尽くして下さい！
応援しています(´ー´)ノ

立山 清史 先生

NISSO へようこそ！新たな学びの旅が始
まりました。挑戦を楽しみ、成長を追求し
ましょう。パソコン・機械大好きな立山で
す！困ったときは相談してね！！

高木 三朗
校長先生



本田 美和 先生

新入生の皆さん、ご入学おめ
どうございます！新しい仲
間と楽しい学校生活を過ご
してくださいね！興味のあること
にどんどんチャレンジして夢に
向かってガンバレ！

谷本 凜 先生

新入生の皆さん、ご入学おめ
どうございます！これから
3年間、4年たくさん楽しんで
、たくさんのご経験を一緒
に成長していきましょう！

松本 まどか 先生

ご入学おめでとうございます！
皆さんの夢が叶うよう、精一杯サポートして
いきたいです！！3年間、4年間の
日総生活を楽しんでくださいね☆

新

学生自治会 START



新・学生自治会 全役員紹介

副自治会長
幼児教育学科新4年
藤原 澄香

自治会長
幼児教育学科新4年
佐藤 優輝

副自治会長
幼児教育学科新3年
坂本 真生

Message

副自治会長になりました藤原澄香です！
自治会長をしっかりサポートしつつ、学生の声にしっかりと耳を傾けながら日総を引っ張って行けるよう全力で頑張ります！

Message

自治会長になりました佐藤優輝です。自治会長の役職を責任を持ってやり遂げたいと思います。
楽しい、やりがいのある自治会運営にするために全力で頑張ります。

Message

副自治会長になりました坂本真生です！
去年も同じ副自治会長を務めていましたが、今年は去年の経験や失敗や成功を活かし、みんなに頼りにされるよう頑張ります！

監事

幼児教育学科新3年
中山 結香子

学園祭実行委員長

幼児教育学科新3年
木柑子 恵

学園祭副実行委員

幼児教育学科新2年
森田 恵莉菜

学園祭副実行委員

幼児教育学科新2年
服部 篤妃

事務局長

幼児教育学科新2年
森田 權

副事務局長

幼児教育学科新2年
鎌田 小春

会計長

幼児教育学科新2年
大島 ゆら

副会計長

幼児教育学科新2年
松野 梨花

サークル長

幼児教育学科新2年
廣田 智樹

美化ボランティア長

幼児教育学科新2年
坂本 壘一

広報長

幼児教育学科新3年
中原 巳織

学園祭実行委員長

幼児教育学科新2年
古荘 羚花

校長室の窓から

キャプテン

文責 高木

先日、パリ五輪マラソン競技に金栗四三さん以来実に100年ぶりに出場する熊本県出身ランナー赤崎暁選手の壮行会に出席した。彼は九電工所属で開新高校陸上部出身である。マラソンに限らず多くの競技で五輪出場内定のニュースが連日報じられている。

そのような中、JOC日本オリンピック委員会はパリ五輪では選手団の主将を廃止する方針を発表した。東京五輪主将は陸上の山縣選手、リオではレスリングの吉田選手でいずれも力を出し切ったパフォーマンスは残念ながら出来なかったようだ。山縣選手はメダルに手が届きそうなりレーでバトンが渡らなかったし、吉田選手は決勝戦で敗者となった瞬間「ごめんなさい」と声を絞り出した。主将制は我が国独自の制度で過去においては主将に指名された柔道の選手五人全員がゴールドメダリストに輝いた実績もある。この度のJOCの主将制度の廃止は指名された選手への負担軽減が目的とのこと。

この度の制度の見直しの賛否はそれぞれであるだろうが、アスリートが大会に臨んで、一番悔いを残すとしたら、成績の良し悪しでなく、自分自身の力が出し切れなかった時なのだろう。トップアスリートだけに限らず、その時々での集中ややる気持ちの繰り返しと練習の反復が若いアスリートの成長につながっていると私は信じている。

「一年延期しかも観客なし」で実施された東京五輪、夏のパリは通常開催が出来そうで待ち遠しい。